

- 系統 低弾性ラテックス改質超速硬コンクリート
- 特長
- 1) 既設構造物と同等の低弾性係数を実現。
  - 2) 20mm骨材を用いたコンクリートとして初の性能照査をクリア  
(東・中・西日本高速道路(株) 床版上面における断面修復の性能照査項目)
  - 3) 急速施工や早期交通開放が可能(施工後2時間で10N/mm<sup>2</sup>以上、4時間で24N/mm<sup>2</sup>以上の圧縮強度が得られる)。
  - 4) 作業性の高い製品パッケージと安定した品質を確保。
- 用途
- 1) 床版上面断面修復用材料、コンクリート舗装用材料

名称		ミニパック (約210 /セット)	ベースパック (約1500 /セット)
プレミックス粉体		25 kg /袋	333 kg /袋 ※13mm, 20mm 骨材のいずれか一方 がプレミックス
専用 粗骨材	13mm	20.3 kg /袋	
	20mm	22.3 kg /袋	
混和液		1箱 (4.0 kg /袋×4袋)	18 kg /缶
セッター		1 kg /袋	
仕上げ養生剤		4 kg /缶、18 kg /缶	

- 外観性状
- ベースパック、ミニパック…プレミックス粉体、骨材  
 混和液…白色液体 セッター…白色顆粒状 仕上げ養生剤…白色液体  
 混合物…灰色粘稠状 (コンクリート状)

可使時間の目安 および配合	ミニパック (1セット当たり)			ベースパック (1セット当たり)		
	5~15	15~25	25~35	5~15	15~25	25~35
コンクリート温度[°C]	5~15	15~25	25~35	5~15	15~25	25~35
セッター投入量[g]	8~25	25~50	50~70	60~200	200~380	380~550
練混ぜ混和液量[kg]	3.7~4.0			18		
練混ぜ水量[kg]	-			8.5~10.5		
可使時間[分]	約20~30					

- 品質保証期間  
(未開封, 冷暗所保存)
- ベースパック、ミニパック、ミニパック混和液：製造後3か月  
 ベースパック混和液、仕上げ養生剤：製造後9か月

- 消防法による  
区分
- いずれの成分も該当しない

- 毒物及び劇物  
取 締 法
- いずれの成分も該当しない

- 使用方法
- 1) 材料の温度確認を行い、SBセッターの添加量を決定する。
  - 2) SBセッターをベースパックの場合は練り混ぜ水に、ミニパックの場合は混和液に溶かす。
  - 3) ベースパック (ミニパック) をミキサーに投入する。
  - 4) 混和液、水 (ベースパックのみ)、SBセッターをミキサーに投入し、3分程度攪拌し排出、打設を行う。ただし、ミニパック打設時、傾動ミキサーを使用する場合は練混ぜ効率が悪い場合があるので4分程度攪拌を行う。
  - 5) 仕上げ補助剤または養生剤を使用する場合は、仕上げ養生剤1：清水4の割合で希釈したものを0.15 kg/m<sup>2</sup>を限度として散布する。過剰散布はひび割れの原因となるため、過剰に散布しないこと。

- 使用上の注意
- 1) 使用材料は水、湿気の少ない場所に保管してください。
  - 2) 夏場は直射日光を避けてください。
  - 3) 開封した材料は早めに使いつくすようにしてください。
  - 4) 室内保管ができない場合は、パレット等を敷地から離れた状態で、ブルーシート等で覆って保管してください。

**注 意**

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。
5. 使用後の容器、残った接着剤は、産業廃棄物として処理して下さい。